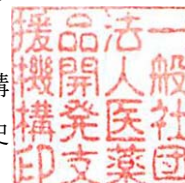


2019年12月

一般社団法人 医薬品開発支援機構  
代表理事 山崎 浩史



『マイクロドーズ臨床試験第二回国際会議』へのご支援のお願い（趣意書）

時下、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

この度、2020年4月20日に東京、日本橋ライフサイエンスビルディングにおきまして、国際的にマイクロドーズ臨床試験を推進し米国に拠点をおく Phase-0/Microdosing Network と医薬品開発支援機構APDDが合同で、アジア地区でのマイクロドーズ臨床試験の現状と将来を討議する国際会議 <http://www.apdd-jp.org/symposium/202004/index.html> を、下記プログラムにて開催する運びとなりました。

昨今の環境は厳しいものがあることを十分に認識致し、本会は可能な限り質素に運営することを第一義に考えております。しかしながら、成功裏に開催すべく、海外の第一線の演者を招き、国内外の皆様のご参集に便利な会場を用意し、鋭意準備に当たっております。

御支援のお願いとして、海外流メダル式スポンサー（一口10万円）には10分間程度のご講演機会と会場ブース設営を、国内流スポンサー（1万円）には参加者配布資料への広告挿入を、用意したいと考えております。

何卒よろしくご協力、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

## 記

9:30～12:45 基調講演

演者：

Tal Burt ,M.D. (アメリカPresident Phase-0/Microdosing Network代表)

Nader Sanai, MD (アメリカBarrow Neurological Institute)

Graeme Young, Ph.D. (イギリスGSKフェロー)

WooIn Lee ,Prof. (韓国ソウル大学)、 杉山 雄一 Ph.D. (理化学研究所)

山浦 由之 Ph.D. (小野薬品工業)、宮武 大輔 Ph.D. (アステラス製薬) 他

12:45～13:45 休憩

13:45～15:30 個別グループディスカッション(参加者を4つに分けた分科会)

15:30～15:45 休憩

15:45～17:30 全体でのまとめの会議

以上